

平成 29 年度 第 2 回  
情報配線施工技能検定

試験要項

2級実技

受検申請 期間	平成29年11月24日(金)～平成29年12月22日(金) ※受検申請期間外の受検申請書は受理できませんのでご注意ください。
実技 試験日	平成 30 年 1 月 20 日(土) 1 月 27 日(土) 2 月 3 日(土) 日程は地区ごとに異なります。ご注意ください。
受検地区	北海道 宮城 栃木 埼玉 東京 石川 愛知 大阪 兵庫 福岡 企業・学校など団体単位で一括受検申請をする場合には、その団体が用意する会場での受検が可能です。申請時にご相談ください。

- ・ 受験料減免を希望される 35 歳未満の方は、必ず郵送により受検申請(4 ページ参照)してください。Webによる申請はできません。
- ・ 受検申請ならびに受検に際しては、この試験要項に記載された事項を遵守し、同意した上で、受検申請書をご提出下さい。
- ・ 受検申請のために提出された個人情報については、技能検定を受検できるために最低限必要な資料の収集目的に限り利用し、それ以外のいかなる目的にも利用することはありません。当協議会は、プライバシー及び個人情報保護の重要性と社会性を強く認識して、個人情報の保護方針を定め、個人情報の適正管理に努めています。

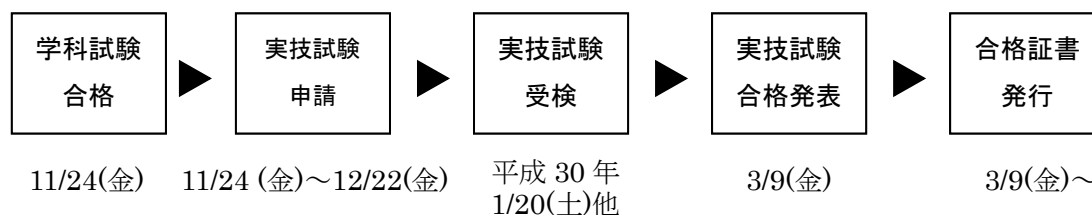
厚生労働大臣指定試験機関  
特定非営利活動法人 高度情報通信推進協議会

<http://www.b2every1.org/>

Ver.2017\_02

## [1]試験概要

情報配線施工技能検定試験は、厚生労働省より職業能力開発促進法第47条第1項の規定に基づき指定試験機関の指定を受けて、特定非営利活動法人高度情報通信推進協議会（以下、協議会）が実施するものです。試験は、試験基準に基づき学科試験及び実技試験が行われ、1級の合格者には厚生労働大臣より、2級及び3級の合格者には協議会理事長より、情報配線施工技能士の合格証書が発行されます。



## [2]試験日程

### [実技試験]

試験日：平成30年 1月20日(土)： 東京 石川  
平成30年 1月27日(土)： 北海道 宮城 栃木 埼玉  
平成30年 2月 3日(土)： 愛知 大阪 兵庫 福岡

試験時間： 90分 10:00~11:30

- ※ 試験日及び試験時間は、受検票により改めてご確認ください。
- ※ 試験時間を選択することはできません。
- ※ 受付は、試験時間の1時間前より開始致します。
- ※ 試験の注意説明がありますので、試験時間の25分前までに必ず着席してください。

### [3]受検資格

受検資格は、以下となります。

等級区分		受検対象者
1 級	実技試験	1 級の技能検定において、学科試験に合格した者 <sup>(※1)</sup>
	学科試験	7 年以上の実務経験 <sup>(※2)</sup> を有する者
		職業高校、短大、高専、高校専攻科、専修学校、各種学校卒業又は普通職業訓練修了 <sup>(※3)</sup> 後、5 年以上の実務経験 <sup>(※2)</sup> を有する者
		大学 <sup>(※3)</sup> 卒業後、3 年以上の実務経験 <sup>(※2)</sup> を有する者
		高度職業訓練修了 <sup>(※3)</sup> 後、1 年以上の実務経験 <sup>(※2)</sup> を有する者
	2 級の技能検定に合格した者であって、その後2 年以上の実務経験 <sup>(※2)</sup> を有する者	
2 級	実技試験	2 級の技能検定において、学科試験に合格した者 <sup>(※1)</sup>
	学科試験	2 年以上の実務経験 <sup>(※2)</sup> を有する者
		職業高校、短大、高専、高校専攻科、専修学校、各種学校を卒業又は普通職業訓練 <sup>(※3)</sup> を修了した者
		大学 <sup>(※3)</sup> を卒業した者
		高度職業訓練 <sup>(※3)</sup> を修了した者
	3 級の技能検定に合格した者	
3 級		情報配線施工関連業務に従事している者及び従事しようとしている者

※1：当該実技試験が行われる日が、学科試験の合格日より2年以内である場合に限る。

※2：実務経験とは、情報配線施工に関する業務に携わった経験のことである。

※3：学校卒業、訓練修了については、卒業あるいは修了時に情報配線施工に関する科目等が含まれる学科、訓練科であると当協議会が認めたものに限る。

## [4]免除基準

次のいずれかに該当する免除の対象者は、申請により学科試験あるいは実技試験が免除されます。試験の免除を受けようとする場合は、免除資格を証明する書面（写し）が必要です。

番号	免除の対象者	免除される等級及び範囲
01	1級の技能検定に合格した者	1級の学科試験の全部
02	1級又は2級の技能検定に合格した者	2級の学科試験の全部
03	1級、2級又は3級の技能検定に合格した者	3級の学科試験の全部
04	1級の技能検定において、学科試験に合格した者	1級の学科試験の全部 <sup>(※1)</sup>
05	1級又は2級の技能検定において、学科試験に合格した者	2級の学科試験の全部 <sup>(※1)</sup>
06	1級、2級又は3級の技能検定において、学科試験に合格した者	3級の学科試験の全部 <sup>(※1)</sup>
07	3級の技能検定において、実技試験に合格した者	3級の実技試験の全部 <sup>(※2)</sup>
08	高度情報通信推進協議会が実施する「情報ネットワーク施工プロフェッショナル-Gold-」認定試験合格者	1級、2級及び3級の学科試験の全部 <sup>(※3)</sup>
09	高度情報通信推進協議会が実施する「情報ネットワーク施工プロフェッショナル-Silver-」認定試験合格者	2級及び3級の学科試験の全部 <sup>(※3)</sup>
10	技能五輪全国大会の情報ネットワーク施工職種において、1級の技能検定合格者と同等以上の技能を有すると認められ、技能証の交付を受けた者	1級の実技試験の全部
11	技能五輪地方大会 <sup>(※4)</sup> の情報ネットワーク施工職種において、2級及び3級の技能検定合格者と同等以上の技能を有すると認められ、技能証の交付を受けた者	2級及び3級の実技試験の全部
12	情報配線施工職種の指定試験機関技能検定委員であって、試験問題作成に係る職務に2年以上携わった者	1級、2級及び3級の学科試験及び実技試験の全部
13	情報配線施工職種の指定試験機関技能検定委員を5年以上務めた者	1級の実技試験の全部、2級及び3級の学科試験及び実技試験の全部
14	情報配線施工職種の指定試験機関技能検定委員を2年以上務めた者	2級の実技試験の全部、3級の学科試験及び実技試験の全部

- ※ 1 当該学科試験が行われる日が、学科試験の合格日より2年以内である場合に限る。
- ※ 2 当該実技試験が行われる日が、実技試験の合格日より2年以内である場合に限る
- ※ 3 当該学科試験が行われる日が、INIP認定試験の合格日より3年以内である場合に限る。
- ※ 4 高度情報通信推進協議会が実施する技能五輪全国大会「情報ネットワーク施工」職種の予選会を示す。

## [5]受検申請手続

受検申請期間:平成29年11月24日(金)~12月22日(金) 消印有効

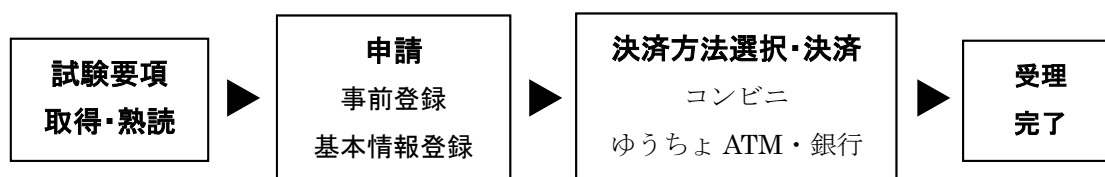
受検手数料払込期限:平成29年12月27日(水)

## [6]受検申請の方法

受検の申請は、当協議会ホームページより「インターネット受検申請」にて行ってください。なお、何らかの理由によりインターネット受検申請を行えない場合は、郵送による申請も受け付けておりますので、以下を参考にして添付の受検申請書にてお申込みください。

### 「インターネット受検申請方法」

(<https://every1.web489.com/login/>) から申請してください。



※「申請」は、「事前登録」から基本情報登録を行い、受検のためのIDを取得してください。

※受検申請した日により、払込期限が異なりますのでご注意ください。払込期限は、申請より5日間です(土日・祝日含む)。期限経過後は申請がキャンセルされます。

### 受検料減免措置を希望される方

受検料減免を希望される35歳未満の方は、「郵送による受検申請」でのみ申請が可能です。「インターネット受検申請」を行った場合には受験料の減免ができませんのでご注意ください。

#### 受検料減免措置について

日本でのものづくり分野に従事する若者の確保・育成を目的として、35歳未満の方が技能検定を受ける際の受験料を一部減額する制度です。

##### 【対象者】

- (1) 実技試験を受検する方
- (2) 実技試験実施日が属する年度の4月1日において、35歳に達していない方

## 「郵送による受検申請」

本要項に添付の申請書をお使いください。

受検申請書類は必ず「簡易書留」で郵送してください。その際、郵便局で発行される簡易書留の控えは、受検票到着まで大切に保管してください。これ以外の郵送方法にて送付された場合、協議会は一切の責任を負いません（到着確認のお問合せにはお答えできません）。

### 【受検申請書送付先】

〒167-0052

東京都杉並区南荻窪4-35-20 ゼネラルビル201

特定非営利活動法人 高度情報通信推進協議会 技能検定試験事務局

TEL : 03-5346-5240

### 【受験料減免措置を希望される方】

必ず本人確認書類(運転免許証、保険証、学生証(校長印があるもの)のコピー)を同封してください。同封が無い場合は、申請を受理できません。なお、学校や会社で団体申請される場合は、所定の申請書を用いて団体の代表者(学校の場合は校長)の証明印を捺印することで代えることができます。

### ■受検申請書記入方法（郵送による申請の場合）

- ① **フリガナ**： お名前のフリガナをカタカナで記入してください。
- ② **氏 名**： 姓と名を各欄に楷書で記入してください。
- ③ **生年月日**： 西暦数字で記入してください。
- ④ **性 別**： 男性は“1”、女性は“2”を記入してください。
- ⑤ **電話番号**： 日中に連絡のつく電話番号を記入してください。（携帯電話も可）
- ⑥ **勤務先(学校名)**： 現在の勤務先又は学校名を記入してください。
- ⑦ **メールアドレス**： 事務局からの連絡等、確実に受信できるアドレスをお書きください。
- ⑧ **住所**： 受検票発送住所が勤務先あるいはその他の場合でも、必ず正確に記入してください。合格時の登録に必要となります。
- ⑧ **受検票等送付先**： 受検票および結果通知の送付先の住所を正確に記入してください。勤務先に発送をご希望の場合は、必ず勤務先名・部署名も記入してください。
- ⑩ **受検地区**： →「[7]項の受検地区」参照  
受検を希望する地区及び地区コードを記入してください。
- ⑪ **減免措置の希望の有無**： 減免措置を希望される方は1、に○を記入してください。
- ⑫ **受検手数料**： →「[8]項の受検手数料」参照  
該当する受検する試験の受検手数料を確認してください。
- ⑬ **受検資格**： 該当する受検資格に☑を記入してください。
- ⑭ **免除基準**： →「[4]項の免除基準」参照  
試験の免除を申請しようとする場合は、該当番号を記入してください。なお、試験の免

除を受けようとする場合は、免除資格を証明する書面（写し）を申請書に同封してご送付ください。ホームページから申請の場合は、免除資格を証明する書面（写し）のみを郵送またはFAXにて事務局までお送りください。また、実技試験と共に学科試験の免除も合わせて申請する場合には、所定の試験免除申請手数料を申請期間中にお振込みください。

- ⑮ **合格時受検番号**：学科試験に合格した試験の年度、試験回及び受検番号を正確に記入してください。
- ⑰ **受検手数料振込控貼付欄**：手数料の振込・利用明細書の控え（コピー可）を必ず受検申請書内の所定欄に貼付してください。
- ⑱ **年齢確認書添付欄**：年齢の確認できる書類（運転免許証、保険証、学生証）のコピーを添付してください。

## [7]受検地区と試験会場

次の受検地区で実施いたします。

地区名	地区コード
北海道	006
宮城	003
栃木	011
埼玉	012
東京	001
石川	007
愛知	004
兵庫	035
福岡	005

試験会場は、受検票に記載されていますのでご覧ください。

- ① 各受検地区の試験会場は、受検票送付時にお知らせするとともに、協議会ホームページに掲載致します。
- ② 受検申請後の受検地の変更については「[9]の受検申請書提出後の各種変更届」をご覧ください。

## [8]受検手数料

実技試験手数料      :2級実技:22,000円(非課税)      **減免措置による場合 13,000円**

なお、学科試験/実技試験の免除を受けようとする方は以下の通りです。

学科免除による実技試験手数料:2級実技:25,000円(非課税)

※2年以内に学科受検に合格した方は、免除手数料の追加支払いは不要です。

学科及び実技試験免除手数料：各3,000円(非課税) (全免除の場合:6,000円)

#### 振込先

銀行：みずほ銀行 飯田橋支店  
預金種目：普通  
口座番号：2320101  
受取人：特定非営利活動法人高度情報通信推進協議会  
受取人(カナ) トクエイエリカクトウホウジソウトジョウホウツウシンスイシキョウギカイ

- ① お振込みは、最寄りの金融機関より受検申請期間内、又は払込票記載の期限内にお願いいたします。払込票記載の期限を過ぎた場合速やかに事務局までご連絡ください。
- ② 受検申請書の郵送によるお申し込みの場合には、振込・利用明細書(コピー可)の控えを必ず受検申請書内の所定欄に貼付してください。
- ③ Webにより申請いただく場合は、コンビニエンスストアまたは郵便局窓口でも払込ができます。
- ④ 一旦納入した受検手数料は、いかなる場合も返還できません。また、受検者が何らかの理由により受検できなかった場合でも次回以降の試験への充当も認められませんのでご了承ください。

### [9]受検申請書提出後の各種変更届

受検申請後に送付先住所等を変更する場合は、『受検票・結果通知送付先変更届』を試験事務局より入手しFAXまたは郵送でご提出ください。

### [10]受検票

- ① 受検票は、申請受理後、平成30年1月9日(火)に郵送にて一斉発送いたします。  
郵便事情等により、受検票の到着は多少日数がかかる場合もあります。
- ② 受検票には、本人が確認できる3cm×4cmの写真(6ヶ月以内の正面脱帽半身像)の貼付が必要ですので、予めご準備ください。
- ③ 受検票を受け取り次第、受検番号・試験会場・交通機関等を各自お確かめください。
- ④ 平成30年1月12日(金)までに、何の連絡もなく受検票が届かない場合は、試験事務局までお問合せください。(受検票なき場合は受付できません)



## [11]試験当日について

### 【試験当日の携帯品】

- (1) 受検票
- (2) 身分証明書

次の1～5 に定める自己を証明する写真貼付の身分証明書のいずれかをご提示ください。

- 1.INIP(情報ネットワーク施工プロフェッショナル)認定証
- 2.運転免許証 3.パスポート 4.学生証 5.社員証

※いずれの証明書類も、試験当日において有効であるものがが必要です。

- (3) 筆記用具 (HBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)
- (4) 実技試験関連工具等(実技試験課題公開時に具体的な器工具・測定器の数量を指示)

### 【受検上の注意】

- ① 車での来場はご遠慮ください。違法駐車した場合は受検をお断りする場合があります。
- ② 指定された試験会場以外での受検はできません。
- ③ 試験開始前に試験についての注意事項説明がありますので、受検する各試験開始時刻25分前までに必ず着席してください。なお、試験開始30分経過以降の入室はできません。
- ④ 試験会場では、試験監督および係員の指示に従ってください。
- ⑤ 不正行為があった場合は、試験の停止または合格の取り消し、以後の受検をお断りする場合があります。
- ⑥ 机上に置くのは受検票、身分証明書類、筆記用具だけになります。飲み物、携帯電話・PHSなどの通信機器は試験中に使用、または机上に置くことはできません。
- ⑦ 退室は試験監督の指示に従ってください。
- ⑧ 解答用紙を試験会場から持ち出した場合は、無効となり採点されません。問題用紙はお持ち帰りください。
- ⑨ 冷暖房や室温変化等に対応できる服装で受検してください。
- ⑩ 受検に臨む際の態度、服装・着衣については、実際の現場作業を想定して、作業しやすい服装・着衣であると共に安全衛生上支障のないように心掛けてください。
- ⑪ 安全には十分注意して作業を行ってください。
- ⑫ 試験中、工具の貸し借りはできません。各自、必要工具は必ず持参してください。

## [12]合格発表(実技試験)

合格発表:平成30年3月9日(金)

- ※ 受検申請書に記載の住所へ郵送するとともに、協議会ホームページにおいても行います。  
なお、不合格者には通知がありませんので予めご承知おきください。
- ※ 受検番号での発表になりますので、受検票を紛失しないようご注意ください。なお、受検番号の照会はお受けできませんのでご了承ください。

## [13]お問合せ先

その他、ご不明の点がございましたら、以下試験事務局までお問合せください。

### 厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人 高度情報通信推進協議会 技能検定試験事務局  
〒167-0052 東京都杉並区南荻窪 4-35-20 ゼネラルビル 201  
TEL: 03-5346-5240 (AM9:30~PM 5:00 <土・日・祝日除く>)  
URL: <http://www.b2every1.org>

## 実技試験の出題形式と試験範囲

2級情報配線施工技能検定実技試験の候補問題は協議会のホームページに公開されます。

【出題形式】 作業試験

【合格基準】

75点以上 (100点満点、但し、作業課題が複数の場合は、各作業とも60%以上であること)

【実技試験科目及びその範囲の細目】

### 光ケーブルの配線施工

次に掲げる光ケーブルの配線施工に関する作業ができること。

- (1) 接続 (2) 光ケーブル処理 (3) 心線処理 (4) 光ケーブル配線  
(5) 光コネクタ組立 (6) 通信アウトレット組立 (7) 光接続箱組立

### メタルケーブルの配線施工

次に掲げるメタルケーブルの配線施工に関する作業ができること。

- (1) 成端 (2) メタルケーブル処理 (3) メタルケーブル配線  
(4) モジュラコネクタ組立 (5) 整線 (6) 測定試験  
(7) 通信アウトレット組立 (8) 情報用配線盤箱組立